

留学日语

日本語
中級
(下冊)

日本国际交流基金日语国际中心 编

- 为赴日本留学人员编写的日语教材
内容涉及日本社会、文化、气候、风俗、产业、经济等各个方面。
练习形式多样，有的放矢。
学习者会在不知不觉中提高日语水平，增强驾驭日语的能力。
通过学习，能够更正确、得体地用日语表达自己的意愿，达到与人顺利沟通、交流的目的。

外语教学与研究出版社

留学日语—— 日本语中级(下册)

日本国际交流基金日语国际中心 编

外语教学与研究出版社

(京)新登字 155 号

京权图字: 01 - 2002 - 3532

图书在版编目(CIP)数据

留学日语——日本语中级(下)/日本国际交流基金日语国际中心编. - 北京:外语教学与研究出版社, 2001. 11

ISBN 7 - 5600 - 2362 - 2

I. 留… II. 日… III. 日语 - 教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2001)第 049820 号

留学日语——日本语中级(下)

日本国际交流基金日语国际中心 编

* * *

责任编辑: 张 溥

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com.cn>

印 刷: 北京师范大学印刷厂

开 本: 880×1230 1/32

印 张: 13.125

版 次: 2002 年 8 月第 1 版 2002 年 8 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 7 - 5600 - 2362 - 2/G·1085

定 价: 17.90 元

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励 (010)68917826

版权保护办公室举报电话: (010)68917519

前 言

近几年来，海外日语教育飞速发展。据国际交流基金日语国际中心，1998 年对海外日语教育机构进行的调查表明，海外日语学习者已经超过 210 万人，学习者的层次和学习目的也呈多样化趋势。另外，在这次调查中发现，众多日语教育机构列举的日语教育的问题之一是“没有合适的教材”。因此，可以说我们在开发教材以适应海外广泛需求方面做得还远远不够。

独立进行教材的编写工作是日语国际中心支持海外日语教育的项目之一。本教材《留学日语——日本语中级》(下册)是继已经出版发行的《留学日语——日本语初步》《留学日语——日本语中级》(上册)之后，本中心策划、制作的中级教材。主要目的是为了海外学习日语的学生和成人能够掌握日语的一般阅读能力，并在此基础上掌握日语表达能力。

另外，为了有效地提高本书的使用效果，我们还计划编写练习册和录音磁带作为辅助教材。

我们期待本书能有助于海内外日语学习者和从事日语教育的各位同仁。

2001 年 10 月

国际交流基金 日语国际中心

关于《留学日语——日本语中级》(下册)

1. 《留学日语——日本语中级》(下册)是继《留学日语——日本语初步》《留学日语——日本语中级》(上册)之后编写的教材。学习对象是学完日语中级前期(大约450学时)的外国人。
2. 本书虽然是供日本国以外的日语学习者使用,但也考虑到在日本国内的日语学习者的要求,他们也可以使用本书。
3. 本书的目的是掌握理解日语一般性文章所必需的阅读能力,以及在此基础上的表达能力。
4. 本书主要是让读者分阶段地学习并掌握“书面体”和“口语体”的理解和运用。在使用本书之际,首先通过阅读会话的方式(使学生)了解每课的主题,之后在进行读写练习的同时,对“听、说、读、写”四项技能进行综合指导。
5. 本书预计学时约为150小时。希望学完本书之后,继续学习有关社会生活和专业等方面必要的、更高一级的书面体和口语体的文章。
6. 本书共有14课。我们选择了一些能够吸引读者兴趣和注意的文章,并在此基础上由编者作了若干增补和修改。为了不使内容限定在某个特定的领域内,我们从文化、社会、科学等方面大范围地进行了精选。涉及的内容和题材有日本文化、历史、地理、语言、心理、体育、传统工艺、民间文学、小说、经济、理工科(物理、化学、生物)、地球环境、医学等多方面。
7. 考虑到文章的实用性、社交性、鉴赏性,我们选编了提议、说明、解说、随笔、传记、演讲、谈话、文学作品等各种文章。还使用了“だ体”、“である体”、“です・ます体”、“でございます体”等不同形式的文章体。
8. 每课由“正文”、“練習”、“新出語句”构成。

为了能使大家在一定的主题下去理解文章和谈话,我们选择了一些上下文关系明确、段落分明的“正文”,按难易程度进行排列。希望教师在指导学生的时候,具体地讲述文章的起承转结,题目的指出、假设、证明、结论等,使学生加

深对文章的理解。

9. “練習”由“語句の使い方”、“関連詞語”、“設問”构成。

在“語句の使い方”中，我们首先提出正文中出现的主要说法和表达方式，之后举出适当的例子让学生去理解、掌握并运用。通过编写类似的句子，进行替换练习让大家掌握表达能力。各课列举的“語句の使い方”和每课课文提出的例句，均总结在书后的“語句の使い方一覧”（付録3）中。

在“関連語句”中，我们从正文出现的词语中挑选了几个学习中必要的词作为词条，列出相关的词语和例句，目的是在理解该词的意思和用法的同时，扩充词汇量。所列出的关联词语和例句均与下面(1)～(5)项有关，是学习中必不可少的。(1)词条的例句；(2)近义词以及例句；(3)反义词以及例句；(4)与自动词、他动词有关的例句；(5)其他的关联词语。

各课列举的关联词语作为“関連語句一覧”（付録4）总结在书后。

为了加深对正文的理解，提高表达能力，我们在“設問”中，设置了与正文有关的各种问题。有的与词语的用法有关，有的与段落的内容、文章的主题思想有关。有的问题只有一个特定的答案，而有的则有多种答案的可能。为了便于指导，我们在书后设置了“設問の解答例”（付録5）。

10. 本书出现了大约3100个新词汇。

每课出现的新词汇在各课的最后以“新出語句”的形式列出。单词按照假名、汉字、声调、词性、译词的顺序表示，词性分类如下：

(名)	名词	(五段)	五段活用动词
(形名)	形式名词	(上一段)	上一段活用动词
(固名)	固有名词	(下一段)	下一段活用动词
(人名)	人名	(力変)	力行变格活用动词
(地名)	地名	(サ変)	サ行变格活用动词
(代)	代名词	(補動)	补助动词
(形)	形容词	(格助)	格助词
(形動)	形容动词	(接助)	接续助词
(副)	副词	(感)	感叹词
(連体)	连体词	(終助)	终助词
(接統)	接续词	(助数)	量词
(副助)	副助词	(他)	他动词
(助動)	助动词	(自)	自动词

(接頭)	接头词	(複合助)	复合助词
(接尾)	接尾词	(複合名)	复合名词
(連語)	短语	(造語)	构词成分
(文型)	句型	(擬声)	拟声词

另外在本书出现的新词汇均按五十音图的顺序，列在书后“語彙索引”(付録1)中。《留学日语——日本語初步》大约有1400个词汇，《留学日语——日本語中级》(上册)大约有800个词汇，所以到本书为止大约累计有5300个词汇。

11. 我们从常用汉字表中选出了新出汉字626个和另一种读法的汉字403个，从常用汉字附表中选用了6个汉字。

另外，在常用汉字表中没有的汉字和人名、地名等难读的词上均加有假名。

在《日本語初步》中新出现的汉字有380个，另一种读法的汉字125个，在《留学日语——日本語中级》(上册)中新出现的汉字有316个，另一种读法的汉字为134个，至本书为止共累计出现汉字1322个，另一种读法的汉字662个。

12. 表记均统一为现代假名。汉字以常用汉字表为准。至于数字的表记，原则上音读的词用阿拉伯数字，训读的词用汉字数字。
 13. 为了方便指导，我们在各课的“各课の主な学习事项”(付録2)中，分成四个项目分别列举了各课的“主题”、“主要表达方式”、“主要词语”和“留意事项”。
 14. 为了学习和指导的方便，适当地配置了插图和图表。
 15. 本书的结构和题材的选定由所有编者共同参与。“正文”的增补、修改和“注”、“練習”等的执笔，1、2、5、8、13、14课为富田隆行，3、4、7、9、10课为藤井美智子，6、11、12课为川瀬生郎。
- 在选定新出词汇、制作“語彙索引”(付録1)时，得到了小坂昌子的帮助，在此一并致谢。

2001年10月
川 瀬 生 郎
富 田 隆 行
藤 井 美智子

日本語中級Ⅱ

編著者

かわ	せ	いく	お	
川	瀬	生	郎	拓殖大学教授
とみ	た	たか	ゆき	
富	田	隆	行	亜細亜大学教授
ふじ	い	み	ち	
藤	井	美	智子	文教大学助教授

目 次

第1課	水は大自然の恵み	高木道郎	1
第2課	日本 一東と西一	竹内啓一	12
第3課	身ぶり 一体で伝える言葉一	熊倉千之	25
第4課	なぜ「辞書」は「ひく」なのでしょう	池上嘉彦	34
第5課	暮らしと貿易	河村有弘	55
第6課	科学の愚問・珍問	米山正信	74
第7課	ほんとうの顔	増田れい子	100
第8課	マラソンの青春	君原健二	119
第9課	つるにようほう	矢川澄子	137
第10課	地球環境を守る		161
第11課	民芸について（講演）		177
第12課	伝記 伊能忠敬 一日本を測った男一		198
第13課	雄大な計画（小説）	星新一	226
第14課	レーザー・メスの手術（対談）	渡辺淳一 石渡裕政	250

〔付 録〕

1. 語彙索引	272
2. 各課の主な学習事項	337
3. 語句の使い方一覧	349
4. 関連語句一覧	367
5. 設問の解答例	390
出典と筆者紹介	404

第1課 水は大自然の恵み

高木 道郎（たかぎ・みちろう）

水は、私たちの生活に欠かすことのできない大切な資源です。飲料水はもちろんのこと、農業、工業、発電など、いろいろな分野で、私たちの毎日は水と深くかかわりをもっています。人間だけではありません。地球上のすべての生物にとって、水はまさに「生命の源」となっています。

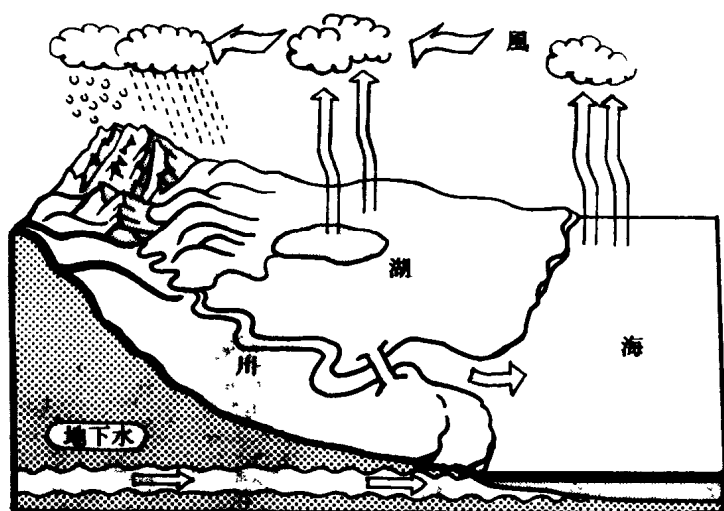
地球上にある水を100とすると、そのうち97パーセントは海水です。淡水はわずかに3パーセント、しかも、川や湖や地下水など、私たちが利用できる水は全体の0.8パーセントにすぎません。

水は、海や陸地から蒸発して雲となり、雨や雪となって地上に降り、それが川となり、地下水となって、ふたたび海に注ぎます。この大自然の循環の中で、すべての生命は誕生し、私たちの生活は成り立っています。しかし、私たちはこれまで、無計画に森林を伐採したり、山を崩し、湖や沼を埋めたり、川に工場廃液やゴミを流してきました。それで、水はどんどん汚れているのが現状です。



（黒部ダム 富山県）

私たちは、水の大切さをよく考え、大自然の恵みを有効に利用して
いかなければなりません。



(水の循環)

練習

I 語句の使い方

1. ～に欠かすことができない

- (1) 水は私たちの生活に欠かすことのできない大切な資源です。
- (2) 石油は私たちの生活に欠かすことのできないエネルギー資源です。
- (3) ^{しょうゆ}醤油は日本料理を作るのに欠かすことのできない調味料です。
- (4) 空気や水は生物が生きていくために欠かすことができません。

2. ～はもちろんのこと

- (1) 飲料水はもちろんのこと、農業、工業、発電など、いろいろな分野で、私たちの毎日は水と深いかわりをもっています。
- (2) この会社は、日曜日はもちろんのこと、土曜日も休みです。
- (3) 両親はもちろんのこと、先生や友人など、みんなが私の病気を心配してくれました。
- (4) 首都、東京には、官公庁はもちろんのこと、大学、博物館、新聞社など、いろいろな機関があります。

3. ～とかかわりをもっている

- (1) 私たちの毎日は水と深いかわりをもっています。
- (2) 農業は天候と深いかわりをもっています。
- (3) 食欲は食べ物の色やにおいと深いかわりをもっています。
- (4) 日本の文化は中国の文化とさまざまなかわりをもっています。

4. ～にとって

- (1) 地球上のすべての生物にとって、水はまさに「生命の源」となっています。
- (2) このブローチは、わたしにとって思い出のある大切なものです。
- (3) 現代の若者にとって、海外旅行は珍しいことではありません。
- (4) 工業を盛んにすることは、この地方にとって最も必要なことです。

5. ～となっている

- (1) 水はまさに「生命の源」となっています。
- (2) この地下鉄は市民の足となっています。
- (3) この公園は野鳥の楽園となっています。
- (4) あの歌手は若者のアイドルとなっています。

6. ～を～とすると

- (1) 地球上にある水を100とすると、そのうち97パーセントは海水です。
- (2) 100キロを1センチとすると、日本列島の長さは約35センチです。
- (3) 10年前の物価を100とすると、今の物価は180になります。
- (4) ここを駅とすると、わたしの家はこの辺にあります。

7. しかも

- (1) 地球上にある水のうち、淡水はわずかに3パーセント、しかも、川や湖や地下水など、私たちが利用できる水は全体の0.8パーセントにすぎません。
- (2) 日本は国土が狭く、しかも、人口が多いです。

- (3) あの川は流れが速く、しかも、水が冷たいので、水泳は禁止されています。
- (4) 彼は英文学科の卒業で、しかも、留学経験もありますから、この仕事に向いています。

8. ～にすぎない

- (1) 私たちが利用できる水は全体の0.8パーセントにすぎません。
- (2) 陸地は、地球の面積の約30パーセントにすぎません。
- (3) 日本で産出される石油は非常に少なく、消費量の0.2パーセントにすぎません。
- (4) 無数にある星のなかで、肉眼で見える星の数は3,000ほどにすぎません。

II 関 連 語 句

1. 資 源

- ①資源が豊かだ 資源に乏しい 資源を利用する
- ②地下資源 海洋資源 鉱物資源 森林資源 水資源

2. 飲料水

- ①雨水を飲料水として利用する
- ②飲み水 農業用水 工業用水
- ③清涼飲料 アルコール飲料

3. 農業・工業

- ①農業・工業が発達する 農業・工業が盛んだ
- ②商業 林業 水産業 牧畜業
- ③農業国 工業国 農業大学 工業大学

4. 発電

- ①水力発電 火力発電 風力発電 原子力発電
発電所 発電機

5. 無計画

- ①無計画に伐採する 無計画な国土開発
- ②計画的に植樹する 計画的な国土開発

6. 恵み

- ①自然の恵みに感謝する 太陽の恵み 神の恵み
- ②資源・水産物に恵まれる

7. 有効

- ①時間を有効に利用する 時間・お金を有効に使う
- ②時間・お金・水が無駄に使う 時間・お金・水が無駄にする
- ③この切符は有効だ この切符は無効だ
有効期限が過ぎる

8. 利用する

- ①水力を発電に利用する 空き箱を利用しておもちゃを作る
通勤に地下鉄を利用する

III 設 問

1. 本文を読んで、次の問いに答えなさい。

- (1) 水はなぜ「生命の源」となっているのですか。
- (2) 「淡水」というのはどんな水ですか。
- (3) 本文の11行目から12行目に「大自然の循環」とありますが、これは
どんなことを指していますか。
- (4) 水資源を大切にするには、どんなことに気をつけなければなりませんか。本文の中から四つ選んで言いなさい。

2. あなたの国の水の状態について考えてみなさい。

- (1) 飲料水の状態はどうですか。
- (2) 河川や海の水の状態はどうですか。

◎新出語句

だいしぜん (大自然) ③ [名]	大自然
めぐみ (恵み) ⑩ [名]	恩惠, 恩泽; 周济, 施舍
しげん (資源) ① [名]	资源
いんりょうすい (飲料水) ③ [名]	饮用水
のうぎょう (農業) ① [名]	农业
はつでん (発電) ⑩ [名・サ変自]	发电
かかわり (関わり・係わり) ⑩ [名]	关联, 关系
にんげん (人間) ⑩ [名]	人, 人类
ちきゅう (地球) ⑩ [名]	地球
すべて (凡て・総て) ① [名・副]	全部, 一切
せいぶつ (生物) ⑩ [名]	生物
みなもと (源) ⑩ [名]	源头, 发源地, 起源